

産業建設委員会記録

開会年月日	平成 28 年 3 月 11 日
開会時刻	午前 9 時 57 分
閉会時刻	午前 10 時 49 分
出席委員名	◎世古 明 ○野口 佳子 山根 隆司 小山 敏
	杉村 定男 浜口 和久 山本 正一 佐之井久紀
	宿 典泰
	中山 裕司議長
欠席委員名	なし
署名者	山根 隆司 小山 敏
担当書記	中田 隆人
審査案件	議案第 11 号 平成 27 年度伊勢市一般会計補正予算（第 6 号）中、産業建設委員会関係分
	議案第 15 号 平成 27 年度伊勢市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第 1 号）
	議案第 16 号 平成 27 年度伊勢市観光交通対策特別会計補正予算（第 2 号）
	議案第 17 号 平成 27 年度伊勢市土地取得特別会計補正予算（第 2 号）
	議案第 19 号 平成 27 年度伊勢市水道事業会計補正予算（第 3 号）
	議案第 20 号 平成 27 年度伊勢市下水道事業会計補正予算（第 3 号）
	議案第 38 号 伊勢市工場等立地促進条例の一部改正について
	議案第 39 号 伊勢市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例の制定について
	議案第 40 号 伊勢市朝熊山地区上水道分担金条例の廃止について
	議案第 49 号 市道の路線の認定について
	議案第 55 号 平成 27 年度伊勢市一般会計補正予算（第 7 号）中、産業建設委員会関係分
平成 28 年 請願第 1 号 T P P 協定を国会で批准しないことを求める請願	
説明者	都市整備部長、都市整備部次長、交通政策課長
	産業観光部長、産業観光部参事、農林水産課長、観光振興課長、観光誘客課長
	情報戦略局長、財政課長、その他関係参与

審議の経過

世古委員長が開会を宣言し、会議録署名者に山根委員、小山委員を指名した。

直ちに議事に入り、去る2月22日、29日、及び3月1日の本会議において審査付託を受けた「議案第11号平成27年度伊勢市一般会計補正予算（第6号）中、産業建設委員会関係分」外11件を審査し、「平成28年請願第1号TPP協定を国会で批准しないことを求める請願」については、賛成少数により不採択にすべしと決定、上記を除く11件は全会一致をもって原案どおり可決すべしと決定し、委員長報告文の作成については、正副委員長に一任することで決定した。

なお、詳細は以下のとおりです。

開会 午前9時58分

◎世古 明委員長

ただいまから産業建設委員会を開会いたします。

本日の出席者は全員でありますので、会議は成立いたしております。

これより会議に入ります。

会議録署名者2名を委員長において山根委員、小山委員の御兩名を指名します。

本日、御審査いただきます案件は、去る2月22日、29日及び3月1日の本会議におきまして産業建設委員会に審査付託を受けました12件であります。

案件名につきましては、お手元に配付の審査付託案件一覧をごらんください。

お諮りいたします。

審査方法につきましては、委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎世古 明委員長

御異議なしと認めます。

そのように決定いたしました。

また、委員間の自由討議につきましては、申し出がありましたら随時行いたいと思しますので、よろしくお願いたします。

【議案第11号 平成27年度伊勢市一般会計補正予算（第6号）中、産業建設委員関係分】

◎世古 明委員長

それでは、はじめに、「議案第11号平成27年度伊勢市一般会計補正予算（第6号）のうち、産業建設委員会関係分」を御審査願います。

補正予算書の42ページをお開きください。

款2総務費、項1総務管理費、目17財産管理費、3市有財産管理事業を御審査願います。

御発言はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

◎世古 明委員長

御発言もないようですので、目17財産管理費を終わります。

次に、44ページをお開きください。

目24交通対策費を御審査願います。

御発言はありませんか。

宿委員。

○宿 典泰委員

交通対策費の関係で、一つは、伊勢市の大きな懸念であったと思いますけれども、駐輪場の整備というのが随分進んだと思うんです。

今回も511万6,000円の管理事業費の減額であったり、交付金の減額、整備費の減額ということで駐輪場の維持管理等々については、減額されたということですので現状としては、もうこれで課題解決ができたということになるのでしょうか。

◎世古 明委員長

交通政策課長。

●岡交通政策課長

今回、本年度の予算計上をさせていただいておる部分につきましては、主たる部分として宇治山田駅周辺ということになってございますが、これで現状としての計画の中では、一応解決というふうに現状としては考えております。

◎世古 明委員長

宿委員。

○宿 典泰委員

再度お聞きをしますけれども、今のところ課題がないということなんですか。

また新しい手法をいろいろ、名古屋、東京あたりの都市圏では、駐輪場の整備というのが今後、人口ビジョン等々からすると逆に車に乗る方よりも自転車を利用する方が非常に多いということで、駐輪場の整備等々を都内では考えておるようなことをお聞きすると、伊勢市もそういうことになるのではないかなというようなことも若干思うんですけれども、そのあたりの対策としては、今後どのようにしていくのか、お考えをお聞かせください。

◎世古 明委員長

交通政策課長。

●岡交通政策課長

今、委員仰せのとおり、例えば最近でいきますと、市内の大学の校舎がこちらに移転したりとかいうことが要因となるような増員があるように、今後の中では、可能性としては委員仰せのようなことがあると思います。

一方、課題の部分につきましては、台数的には先ほど答弁させていただいたとおりでございますが、駐輪のマナーであったりとか長期の放置対策については、条例整備をさせていただくという中で、ソフト対策でこれまでも取り組んでおりますので、今後の動向で駐輪場整備が必要になってきたときに、また議会のほうにも御相談をさせていただきながら、整備のことも含めて対応させていただきたいと思いますが、現状としては、ソフト対策でこれからもやっていきたいと考えております。

◎世古 明委員長

他に御発言はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

◎世古 明委員長

御発言もないようですので、款2総務費を終わります。

次に、82ページをお開きください。

款5労働費を款一括で御審査願います。

御発言はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

◎世古 明委員長

御発言もないようですので、款5労働費を終わります。

次に84ページをお開きください。

84ページから91ページにかけて、款6農林水産業費を款一括で御審査願います。

御発言はありませんか。

宿委員。

○宿 典泰委員

目3の農業振興費のところでお聞きをしたいと思えます。

担い手対策、そして農業振興事業、地産地消の推進事業、食育というところで、全体には減額があるわけですけれども、特に新規就農者への総合支援事業ということで、この27年度の予算を見てみると1,800万円計上されておりました。

それが1,425万円ということになると、ほとんどが使われてないというのか、使う必要がなかったというのか、必要がなかったということでは、いいと思うんですけれども、そのあたりのことを内容だけお聞かせください。

◎世古 明委員長
農林水産課長。

●日置農林水産課長

先ほど御質問ありました新規就農総合支援事業の部分につきましては、昨年の補正予算の部分で前倒しで補正予算がつきまして、平成27年度の新規就農者の方には、その前倒しの補正予算のほうで対応させていただきましたので、今回はその分も含めて減額をあげさせていただきました。

以上でございます。

◎世古 明委員長
宿委員。

○宿 典泰委員

そうしますと、目標値は、前回の前倒しのものについて予算計上したので今回は必要なかったと。一般的には農業問題というのは、高齢化になっておって新規就農していただく人がなかなかないということの一つに、この総合支援事業というのがあるのではないかなと、そういう位置づけではないかなということを感じておるんですけれども、そういう意味からすると、数字に出てこない部分として前倒しで使ったからこの分というよりも、前倒しでできた分と今回、27年度で補正を組まなくていいような、減額しなくていいような、大変就農者にとってありがたい方向というのは、作れなかったのかなというようなことを感じるんですけれども、そのあたりの課題についてどうでしょう。

◎世古 明委員長
農林水産課長。

●日置農林水産課長

委員仰せのとおり、新規就農については、今、1番大切な事業というふうなことで考えております。

平成27年度当初に計画しておった人数としては、達成しておるわけなんですけれども、さらなる部分に今後も取り組んでまいりたいと、そのように思っております。

以上でございます。

◎世古 明委員長
宿委員。

○宿 典泰委員

そのあたりが農業だけではなくて水産業、林業も含めてということになろうと思うんですけれども、伊勢市のほうで目標値は決められたとしても、予算を余らせたという言い方はいけませんけれども、減額して達成できたからよかったなという事業もあろうと思いま

すけれども、こういう前向きな事業の中で予算を余らせて減額するということについて、その体制というのか農林水産課の姿勢というのか、そのあたりのことを少し聞きたいと思うんですけれども、そのあたりは庁内でも議論になってないんでしょうかね。

◎世古 明委員長
農林水産課長。

●日置農林水産課長

委員仰せのとおり、この新規就農者の部分については、非常に大切な部分というふうなことで、現在も三重県、そしてJA伊勢、そのような関係機関とともに今後、新規就農者をいかにふやしていくか、この辺のことを議論しながら次の事業につなげていきたいと、そのように考えております。

◎世古 明委員長
宿委員。

○宿 典泰委員

そのあたりのところは、やはり農林水産課サイドでもう少しきちんとした現状の見直しをやっていく必要があるんじゃないかということで提案をしておきたいと思うんですけれども、あと、農業振興補助金であったりとか地産地消のこと、それと農業体験学習事業ということも、いずれも減額をされておるわけですから、例えば地産地消であれば344万円ですか、計上されたものが286万4,000円減額をするということですから、実質の執行が17、8%ということになると思うんですよね。

そのあたりのことを考えると、これも先ほどの皆さんの論で言うと、前倒しできたから完結したので減額をしたということになるんでしょうか。

◎世古 明委員長
農林水産課長。

●日置農林水産課長

先ほど仰せの話につきましても先行型の補正予算がつきまして、そちらのほうに巻きかえさせていただいた部分がございます、その部分について、今回減額をさせていただきました。

以上でございます。

◎世古 明委員長
宿委員。

○宿 典泰委員

そのあたりも先ほどの議論と同じように、地産地消を何のためにやるんだということで

すよね。

そのあたりの現状認識というのを、もう少し違う角度で考えて捉えてもらう必要があるのではないかなというように非常に感じるんですね。

地産地消も、何か推奨の認定店をどうのこうのと言いますけれども、どれほど、それでしたら伊勢市内の地産地消として生産されたものが皆さんの計画の中で実証されて、どれほど効果が上がっておるかというのは、トン数であったり、キロ数であったりというのは、比較されておりますか。

◎世古 明委員長
農林水産課長。

●日置農林水産課長

地産地消の店の中では、実際にどれだけ使われておるといふうなところは把握していないですけれども、実際にそこでPRというふうな部分で、伊勢市の農産物を知っていただくというふうなところに取り組んでおるものでございますので、こちらのほうにつきまして調査をし、現状もそのような当初に申請いただいた取り組みと同じようにしていただいているかというのを確認させていただきながら進めてまいりたいと、そのように思っております。

◎世古 明委員長
宿委員。

○宿 典泰委員

最後にしますけれども、この地産地消は、認定店をあげて地元のものを知らしめるだけじゃないと思うんですね。

消費を促す、消費がされるということは、農業者にとっては生産につながるわけですから、生産がどれぐらい伸びたんだと、どれだけ消費をしてもらったんだと、それがキロ数であるのか金額であるのか、そういったものが農業者の収益になるわけですよ。

だから、そのあたりのことをちょっと横に置きながら、先ほどの新規就農者のこともそうですけれども、どれぐらいの新規就農者があって、実際に新規就農として年間の所得がこれぐらい上がったんやというようなことがなければ、新しい方はそこへ名乗りを上げないですよね。

何か暗い、厳しい、非常に所得も上がらないという面だけが見えてしまうということになろうと思うんですねけれども、そのあたりの担い手、農業振興、地産地消も食育もそうですけれども、総合的にきちんとした形で確認をできるような状況にするという必要があるのではないかなと思いますけれども、そのあたりいかがでしょうか。

◎世古 明委員長
産業観光部長。

●佐々木産業観光部長

大変貴重な御提言をいただいたというふうに思っております。

私どもも農業の振興は非常に大切というふうに考えておりますし、その中で御指摘いただきましたように担い手、新規就農者の確保、それからおっしゃるような6次産業化、あるいはブランド化等々の産物の高付加価値化、こういったことが相まって初めて農業の振興が図られると思います。

その中で、どのような形できちんとそれを取り組んでいくかということで、目標値も含めて、さらなる取り組みをJA等々とも協力しながらやってまいりたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

◎世古 明委員長

他に御発言はございませんか。

浜口委員。

○浜口和久委員

聞かせていただきたいのは、87ページにございます6農地費の説明欄の1土地改良事業負担金でございますが、大幅な減額となっております。

27年度当初で2億300万円ぐらいが1億3,300万円、これだけ減額になっておる。

この事業が全然進捗せんだっていうふうな、全然じゃないですけどね、3分の1ぐらいしか進捗がないっていうふうな形なんですけど、これの原因を教えてください。

◎世古 明委員長

農林水産課長。

●日置農林水産課長

この内容につきましては、県営のかんがい排水事業が主なものでございます。

こちらのほうにつきましては、昨年、国の補助金というか予算がつかなかったことによりまして、その分を今回あげさせていただいたものでございます。

以上でございます。

◎世古 明委員長

他に御発言はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

◎世古 明委員長

御発言もないようですので、款6農林水産業費を終わります。

次に、92ページをお開きください。

款7商工費を款一括で御審査願ひます。

御発言はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

◎世古 明委員長

御発言もないようですので、款7商工費を終わります。

次に、94ページをお開きください。

款8観光費を款一括で御審査願います。

御発言はありませんか。

宿委員。

○宿 典泰委員

観光総務費のところでお聞きをしたいと思うんですけれども、おもてなし推進事業が1,746万1,000円の予算があがっておりました。

これがもう1,160万1,000円の減額ということですから、600万円弱ですか、使用されたということです。

これも前倒し等々の影響があるんでしょうか。

◎世古 明委員長

観光振興課長。

●岩村観光振興課長

委員のおっしゃるとおり、これらにつきましても地方創生の先行型の交付金がつきましたので、その関係でつかない部分という意味で減額させていただきました。

◎世古 明委員長

宿委員。

○宿 典泰委員

そうしますと、先ほどの農林とよく似たお話をさせていただかないかと思うんですけれども、観光事業、非常に誘客のことも含めて、下段の旅客誘致の関係もあって、予算的にはそちらに振り分けをするということだけで、内容の問題としてはその程度で、この観光費の減額というのは、よかったということなんじゃないかな。

◎世古 明委員長

観光振興課長。

●岩村観光振興課長

委員仰せの、このおもてなしのほうには、多言語化の補助金も含まれておりまして、多言語化の補助金におきましてもサミット等々のときにつきましても、問い合わせ等々も多かったんですけれども、今現在におきましても、ほとんど問い合わせもないというふうな状

況の中で減額させていただいたというところもございます。

以上でございます。

◎世古 明委員長
宿委員。

○宿 典泰委員

そうしますと、今、多言語化の問題であったりとか外国人の誘客の問題ということで課題が予算特別委員会でも若干出ておりましたけれども、一つお聞きをしたいんですけども、外国人の方が伊勢へ来訪されて、今、防災その他のことでは、それなりの方向を見ておるわけですけれども、例えば海外の方がこられて病気になったと、救急車呼ばないかん。救急車に乗って病院へ行くと。そういうことになると消防、また病院との連携というのが必要になってこうよと思うんですね。

当然、多言語ということですから、どういう方が病気になられるかわからんという状況の中で、どのような連携をしていくんでしょう。

◎世古 明委員長
観光振興課長。

●岩村観光振興課長

今現在ですけど、そういった問診表という部分のものが案内所とか、あるいは消防署、あるいは病院等々にうちのほうからも配付させていただきまして、その中で連携をさせていただいておる状況でございます。

◎世古 明委員長
宿委員。

○宿 典泰委員

問診表ということは、どこの海外の方かはわかりませんが、ある程度その問診ができる状況ということをお考えしておると思うんですけども、そうではなくて、激痛がということになった場合は、その問診表をお見せしてするということになるんですか。

◎世古 明委員長
観光振興課長。

●岩村観光振興課長

もちろん問診表の前に多言語化でお話をした中で、次に問診表をというふうなことを想定しております。

◎世古 明委員長

宿委員。

○宿 典泰委員

つまらんこと聞くように聞こえるかもわかりませんが、観光の事業についても総合事業だと思うんですね。

来ていただくということで、来い来いということだけではなくて、防災面も、今、しきりに皆さんの中で議論されておると思うんですけれども、安心して海外の方が伊勢市に来訪されるということは、病院であったり消防の分野であったりということがしっかり連携をできてですね、市民、また地域以外の方が安心して医療分野も受けられるというような状況まできちんとした整備をしておかなきゃならないと思うんですね。

当然、病院の中のクレジットなんていう問題も出てくると思うし、海外では何か消防に乗るとそれは自己負担やというようなところもあるとすると、そのあたりの説明等々も含めて、観光事業の中でどのように他の分野との連携をしながら、そういったことを考えていくかということになろうと思うんですけれども、そのあたりあたりの考え方だけお示しをください。

◎世古 明委員長

産業観光部参事。

●須崎産業観光部参事

ありがとうございます。

少し補足もさせていただきます。

先ほど、補正の減額ということの内容なんですけれども、その600万円に関しましては、外宮参道の灯り事業ということでございましたので、そちらについては補助がついたということで大きく減額をさせていただきました。

それから、課長申し上げました補助等については、課長申したとおりなんですけれど、先ほど消防のお話がございましたので現在の状況は、消防本部に外国人の方から119番が入りますと、8カ国の自動音声の対応で、近くにいる日本語をしゃべれる方とかわってくださいというふうな音声が出るシステムとなっておりますので、その後、救急隊が位置を確認いたしまして駆けつけた後は、8カ国の多言語化の、先ほど課長申し上げました問診表というものですけれども、そのときに意識不明とか、そういったことがありましたら、課題はたくさんございますので、今後はそのようなことを案内所で、できるだけ詳細にお越しいただいた方にも、また、お越しいただく前にインターネット等で手続の情報をなるべく早く伝えるようにさせていただきますので、御理解いただきますよう、よろしくお願いたします。

◎世古 明委員長

宿委員。

○宿 典泰委員

観光事業については、全体の予算の中で1.2%の構成ということで、この27年度のときの予算を見てみるとそういう状況なんです。

1.2%あれば観光事業としては十分やと言うのであれば、私はもう気にしない話なんですけれど、伊勢はやはり活性化の中で観光事業も含めていろいろと頑張っていきたいという意気込みは、市長からの説明の中であるわけですよ。

私は国との事業の中で当然、負担を国のほうでやっていただいたんで、一般会計の繰り出しがなくなったということで減額するのは、それはそれで結構な話だと思うんですけども、5億8,500万円で全体の1.2%しかない観光費を減額するのではなくて、そういう前倒しができるものと、今までの課題であったり、観光事業としてももう少し予算ベースとするとね、新しい事業ができるというのであれば、そちらへ振り向けができなかったのかなということは、実は私の本音なんです。

扶助費のように、もうどうしても必要だからということで多額の扶助費を組んでおりますけれども、それはもう段々減額をしていく方向であれば、それはもうありがたい話だと思いますけれども、こういう観光事業でいろんな企業の方の事業をどう伸ばしていくかとか、伊勢市全体の話とするならば、余り減額減額で何か前倒しできたんでということが私の頭ではあまりしっくりこないの、そのあたりが、今までこの1.2%の観光費が十分だということであれば、そのようにお答えしていただいたらいいと思うんですけど、まだまだつぎ込みたいというのか、そういう費用があるとすれば減額ということよりも、減額できる一方で、やはり積み残したものに予算を振り向けていくというような考え方というのは、一つあるんじゃないかなと思うわけですよ。

そのあたりはいかがでしょうね。

◎世古 明委員長

産業観光部参事。

●須崎産業観光部参事

ありがとうございます。

観光費におきましては、委員仰せのとおり積極的に取り組んでまいりたいという我々の姿勢も変わりございません。

後ほど御審議いただきます7号補正につきましても、積極的な予算、追加補正をさせていただいたようなことでございますので、そちらについても28年度予算と同じことが言われると思います。

以後は、なるべく予算のほうは、財政とも相談させていただいて、国の交付金がついたから当初見ておったものが減額するという姿勢ではなく、積極的に対応してまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

◎世古 明委員長

他に御発言はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

◎世古 明委員長

御発言もないようですので、款8観光費を終わります。

次に96ページをお開きください。

96ページから107ページにかけて、款9土木費を款一括で御審査願います。

御発言はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

◎世古 明委員長

御発言もないようですので、款9土木費を終わります。

次に、110ページをお開きください。

款10消防費、項1消防費、目4水防費を御審査願います。

御発言はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

◎世古 明委員長

御発言もないようですので、目4水防費を終わります。

次に、目5災害対策費、2防災基盤整備事業のうち、(2)住宅・建築物耐震改修等促進事業を御審査願います。

御発言はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

◎世古 明委員長

御発言もないようですので、款10消防費を終わります。

次に、130ページをお開きください。

款12災害復旧費を款一括で御審査願います。

御発言はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

◎世古 明委員長

御発言もないようですので、款12災害復旧費を終わります。

以上で議案第11号の審査を終わります。

続いて討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

◎世古 明委員長

討論もないようですので、以上で討論を終わります。
お諮りします。

「議案第11号平成27年度伊勢市一般会計補正予算（第6号）のうち、産業建設委員会関係分」につきましては、原案どおり可決すべしと決定しまして御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎世古 明委員長

御異議なしと認めます。
そのように決定しました。

【議案第15号 平成27年度伊勢市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）】

◎世古 明委員長

次に、239ページをお開きください。

239ページから249ページにかけて、「議案第15号平成27年度伊勢市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）」を御審査願います。

本件については一括で御審査を願います。

御発言はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◎世古 明委員長

御発言もないようですので、以上で審査を終わります。
続いて討論を行います。
討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◎世古 明委員長

ないようですので、以上で討論を終わります。
お諮りします。

「議案第15号平成27年度伊勢市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）」につきましては、原案どおり可決すべしと決定しまして御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎世古 明委員長

御異議なしと認めます。
そのように決定しました。

【議案第16号 平成27年度伊勢市観光交通対策特別会計補正予算（第2号）】

◎世古 明委員長

次に、253ページをお開きください。

253ページから263ページにかけて、「議案第16号平成27年度伊勢市観光交通対策特別会計補正予算（第2号）」を御審査願います。

本件については一括で御審査願います。

御発言はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◎世古 明委員長

御発言もないようですので、以上で審査を終わります。

続いて討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◎世古 明委員長

ないようですので、以上で討論を終わります。

お諮りいたします。

「議案第16号平成27年度伊勢市観光交通対策特別会計補正予算（第2号）」につきましては、原案どおり可決すべしと決定しまして御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎世古 明委員長

御異議なしと認めます。

そのように決定しました。

【議案第17号 平成27年度伊勢市土地取得特別会計補正予算（第2号）】

◎世古 明委員長

次に、267ページをお開きください。

267ページから279ページにかけて、「議案第17号平成27年度伊勢市土地取得特別会計補正予算（第2号）」を御審査願います。

本件については一括で御審査を願います。

御発言はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

◎世古 明委員長

御発言もないようですので、以上で審査を終わります。

続いて討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

◎世古 明委員長

ないようですので、以上で討論を終わります。

お諮りいたします。

「議案第17号平成27年度伊勢市土地取得特別会計補正予算（第2号）」につきましては、原案どおり可決すべしと決定しまして御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎世古 明委員長

御異議なしと認めます。

そのように決定しました。

【議案第19号 平成27年度伊勢市水道事業会計補正予算（第3号）】

◎世古 明委員長

次に、299ページをお開きください。

299ページから312ページにかけて、「議案第19号平成27年度伊勢市水道事業会計補正予算（第3号）」を御審査願います。

本件については一括で御審査願います。

御発言はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

◎世古 明委員長

御発言もないようですので、以上で審査を終わります。

続いて討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

◎世古 明委員長

ないようですので、以上で討論を終わります。
お諮りいたします。

「議案第19号平成27年度伊勢市水道事業会計補正予算（第3号）」につきましては、原案どおり可決すべしと決定しまして御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎世古 明委員長

御異議なしと認めます。
そのように決定しました。

【議案第20号 平成27年度伊勢市下水道事業会計補正予算（第3号）】

◎世古 明委員長

次に、315ページをお開きください。

315ページから329ページにかけて、「議案第20号平成27年度伊勢市下水道事業会計補正予算（第3号）」を御審査願います。

本件については一括で御審査を願います。

御発言はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◎世古 明委員長

御発言もないようですので、以上で審査を終わります。

続いて討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◎世古 明委員長

ないようですので、討論を終わります。
お諮りいたします。

「議案第20号平成27年度伊勢市下水道事業会計補正予算（第3号）」につきましては、原案どおり可決すべしと決定しまして御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎世古 明委員長

御異議なしと認めます。
そのように決定しました。

【議案第38号 伊勢市工場等立地促進条例の一部改正について】

◎世古 明委員長

次に条例等議案書の230ページをお開きください。
230ページから242ページにかけて、「議案第38号伊勢市工場等立地促進条例の一部改正について」を御審査願います。
御発言はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◎世古 明委員長

御発言もないようですので、以上で審査を終わります。
続いて討論を行います。
討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◎世古 明委員長

ないようですので、以上で討論を終わります。
お諮りいたします。
「議案第38号伊勢市工場等立地促進条例の一部改正について」につきましては、原案どおり可決すべしと決定しまして御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎世古 明委員長

御異議なしと認めます。
そのように決定しました。

【議案第39号 伊勢市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例の制定について】

◎世古 明委員長

次に、条例等議案書の243ページをお開きください。
「議案第39号伊勢市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例の制定について」を御審査願います。
御発言はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

◎世古 明委員長

御発言もないようですので、以上で審査を終わります。
続いて討論を行います。
討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

◎世古 明委員長

ないようですので、以上で討論を終わります。
お諮りいたします。

「議案第39号伊勢市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例の制定について」
は、原案どおり可決すべしと決定しまして御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎世古 明委員長

御異議なしと認めます。
そのように決定しました。

【議案第40号 伊勢市朝熊山地区上水道分担金条例の廃止について】

◎世古 明委員長

次に、条例等議案書の246ページをお開きください。
246ページから247ページにかけて、「議案第40号伊勢市朝熊山地区上水道分担金条例の
廃止について」を御審査願います。
御発言はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

◎世古 明委員長

御発言もないようですので、以上で審査を終わります。
続いて討論を行います。
討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

◎世古 明委員長

ないようですので、討論を終わります。

お諮りいたします。

「議案第40号伊勢市朝熊山地区上水道分担金条例の廃止について」は、原案どおり可決すべしと決定しまして御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎世古 明委員長

御異議なしと認めます。

そのように決定しました。

【議案第49号 市道の路線の認定について】

◎世古 明委員長

次に条例等議案書の285ページをお開きください。

285ページから292ページにかけて、「議案第49号市道の路線の認定について」を御審査願います。

御発言はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◎世古 明委員長

御発言もないようですので、以上で審査を終わります。

続いて討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◎世古 明委員長

ないようですので、討論を終わります。

お諮りいたします。

「議案第49号市道の路線の認定について」は、原案どおり可決すべしと決定しまして御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎世古 明委員長

御異議なしと認めます。

そのように決定をしました。

【議案第55号 平成27年度伊勢市一般会計補正予算（第7号）中、産業建設委員会関係分】

◎世古 明委員長

次に、追加で配付されました補正予算の議案書をごらんください。

「議案第55号平成27年度伊勢市一般会計補正予算（第7号）のうち、産業建設委員会関係分」を御審査願います。

10ページをお開きください。

款2 総務費、項1 総務管理費、目9 企画費、2 地方創生加速化交付金事業を御審査願います。

御発言はありませんか。

山根委員。

○山根隆司委員

ここの1億600万円なんですけれど、ちょっと教えていただきたいんですけども、このDMOの構築の支援を行なうということでございますが、申し訳ございませんけれども、このDMOというのを説明をお願いできますか。

◎世古 明委員長

観光誘客課長。

●東世古観光誘客課長

DMOという組織についての御質問でございます。

DMOとは、Dがデスティネーションということで、観光地としての行き先とか目的地という意味でございます。

Mがマネージメント、管理、あとマーケティングということでリサーチや広告宣伝といった意味を持っております。

Oがオーガナイズーションということで、組織ということで、地域の稼ぐ力を引き出すとともに、観光地経営の視点に立った観光地域づくりのかじ取り役として、地域の多様な関係者と協働しながら、そういう機能を持った法人を目指していくというのがDMOというものでございます。

以上でございます。

◎世古 明委員長

山根委員。

○山根隆司委員

ありがとうございます。

言葉は結構耳にするんですけども、今回この1億600万円の中でDMOに対してどれぐらいのところで、予算組みをされた中で使い道として考えていますか。

◎世古 明委員長

観光誘客課長。

●東世古観光誘客課長

DMO構築支援事業といたしまして、この中で4,500万円を計上させていただいております。

DMOの形成支援事業ということで1,500万円、これは指導者派遣分を想定いたしております。

また、観光地魅力創造事業といたしまして、先の28年度の当初予算の審議の中でも御説明申し上げました若者向けの体験メニューの構築、こちらのほうをこの事業に充てさせていただきまして、計上させていただいております。

以上でございます。

◎世古 明委員長

山根委員。

○山根隆司委員

ありがとうございます。

いろいろな若者の体験メニューでございますが、伊勢市の観光誘客についての予算でございますので、しっかりお願いいたします。

結構でございます。

◎世古 明委員長

他に御発言はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

◎世古 明委員長

御発言もないようですので、款2総務費を終わります。

次に、14ページをお開きください。

款6農林水産業費を款一括で御審査願います。

御発言はありませんか。

浜口委員。

○浜口和久委員

先ほど27年度の6号補正の部分でちょっと御質問させていただいて、国の予算がつかなかったということで、土地改良事業負担金ですか、県営かんがい排水事業負担金、こういったものが大幅な減額となっておったというふうな部分で、これがまた7号補正、最終で追加補正で出てきて、これは繰越明許になる部分になりますけれども、この関係で、このところ詳しく御説明をお願いできますでしょうか。

◎世古 明委員長
農林水産課長。

●日置農林水産課長

先ほど土地改良事業負担金ということで、こちらのほうにつきましては、県営の事業に対して負担金としてお支払いをしておるものなんですけれども、平成27年度分として6号補正で減額をさせていただきまして、今回、このあげさせていただきましては、またさらに別途補正がついたものでございます。

ですので、ここの部分につきましては、平成28年度の当初予算であげさせていただいたもの前倒しというふうな格好で、今回あげさせていただきました。

以上でございます。

◎世古 明委員長
浜口委員。

○浜口和久委員

そうしますと、6号のときには、国の予算がつかなかったということで減額になって、今回、これ、補正で国の予算がついたということですが、財源が地方債というふうな形での特定財源になっています。

この部分、すみませんがもう一度お願いいたします。

◎世古 明委員長
農林水産課長。

●日置農林水産課長

委員仰せのとおり補助金というふうな格好で、今回、別途であがってきたものというふうなことで、よろしくお願いいたします。

◎世古 明委員長
財政課長。

●鳥堂財政課長

先ほどの浜口委員の御質問にお答えをさせていただきたいと思っております。

国の補正予算に伴う予算化でございますので、補正予算債ということで、100%の充当のできる形で起債を充てさせていただいております。

それと、先ほど農林水産課長が申しあげました部分で、ちょっと誤解をしていただいておりますといかんと思うので一言申しあげますと、平成27年度の事業の部分が、平成26年度の際もちょうど同じような時期で補正予算がございました。26年度の補正予算第7号へ前倒しをさせていただきました。

ですので、27年度に執行する部分が、予算の区分上26年度予算になったというだけでご

ざいまして、今回も、この県営かんがいの部分の負担金につきましては、平成28年度にそもそも実施する部分でございますが、国の予算措置としては、27年度に前倒しなったものということで、そもそもの予定事業量を確実にこなしておるといところで御理解いただきたいと思しますので、よろしくお願いたします。

◎世古 明委員長

浜口委員。

○浜口和久委員

わかりました。

予定量はちゃんとこなしていただいているというふうな部分でございます。

そこですね、28年度の当初予算を見させてもらいますと、この名前が、県営かんがい排水事業対策負担金というのがなくなるとるもので、これはそうしますと、27年度の繰り越し、これで県営かんがい排水事業負担金、これは終わりになるということでしょうか。

◎世古 明委員長

農林水産課長。

●日置農林水産課長

仰せのこのかんがい排水につきましては、継続しておる部分でございます、平成28年度の当初予算には、県営事業負担金というふうな言葉でまとめてあげさせていただいておるといことでございますので、よろしくお願いたします。

◎世古 明委員長

他に御発言はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

◎世古 明委員長

御発言もないようですので、款6農林水産業費を終わります。

次に、16ページをお開きください。

款9土木費を款一括で御審査願います。

御発言はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

◎世古 明委員長

御発言もないようですので、款9土木費を終わります。

以上で、議案第55号の審査を終わります。

続いて討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

◎世古 明委員長

ないようですので、以上で討論を終わります。

お諮りいたします。

「議案第55号平成27年度伊勢市一般会計補正予算第7号のうち、産業建設委員会関係分」につきましては、原案どおり可決すべしと決定しまして御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎世古 明委員長

御異議なしと認めます。

そのように決定しました。

【平成28年請願第1号 TPP協定を国会で批准しないことを求める請願について】

◎世古 明委員長

次に、「平成28年請願第1号TPP協定を国会で批准しないことを求める請願」について、御審査を願います。

御発言はありませんか。

小山委員。

○小山 敏委員

私は、もともとこのTPPに参加することには反対をしている考えを持っておりまして、平成23年度の9月に、当時、TPP参加反対の意見書提出を求める請願というものが出されて、そのときの9月及び12月議会は、継続審査ということで翌年の24年3月に本会議で採択されております。

私もそのとき、他の20人の議員とともに賛成をしておりますので、今回もこの請願には賛成をしたいと思うんですが、その理由といたしまして私は、関税の税率よりも危惧していることがございまして、それは残留農薬の規制緩和などが要求されているということで、国民の食の安全が犠牲にされる可能性もあると。

安全性の高い国産の食品が高騰して、庶民の手に届かないことになるかもしれないということを懸念しております。

それと、さらに最も危惧していることがISD条項でございまして。

この条項により、日本の主権が侵されて国家主権がほとんど用をなさなくなるかもしれないということを非常に危惧しておりますので、私はTPPに参加することはもともと反対でございまして、この請願人は農業問題を主に言われておりますけれども、目的は同じ

ということですので、この請願に私としては賛成をしたいと思っております。

◎世古 明委員長

他に御発言はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

◎世古 明委員長

続いて討論を行います。

討論はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

◎世古 明委員長

ないようですので、以上で討論を終わります。

お諮りいたします。

「平成28年請願第1号TPP協定を国会で批准しないことを求める請願」について、採択すべしと決定することに賛成の方は御起立ください。

(賛成者起立)

◎世古 明委員長

起立少数と認めます。

よって、平成28年請願第1号は、不採択にすべしと決定いたしました。

以上で付託案件の審査はすべて終了いたしました。

お諮りいたします。

委員長報告文につきましては、正副委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎世古 明委員長

御異議なしと認めます。

そのように決定しました。

以上で御審査願います案件は終わりましたので、産業建設委員会を閉会いたします。

閉会 午前10時49分

上記署名する。

平成 年 月 日

委 員 長

委 員

委 員